

News Release

**住友重機械工業の液化空気エネルギー貯蔵システムを用いた商用実証プラントで  
容量市場アグリゲーター契約を締結**

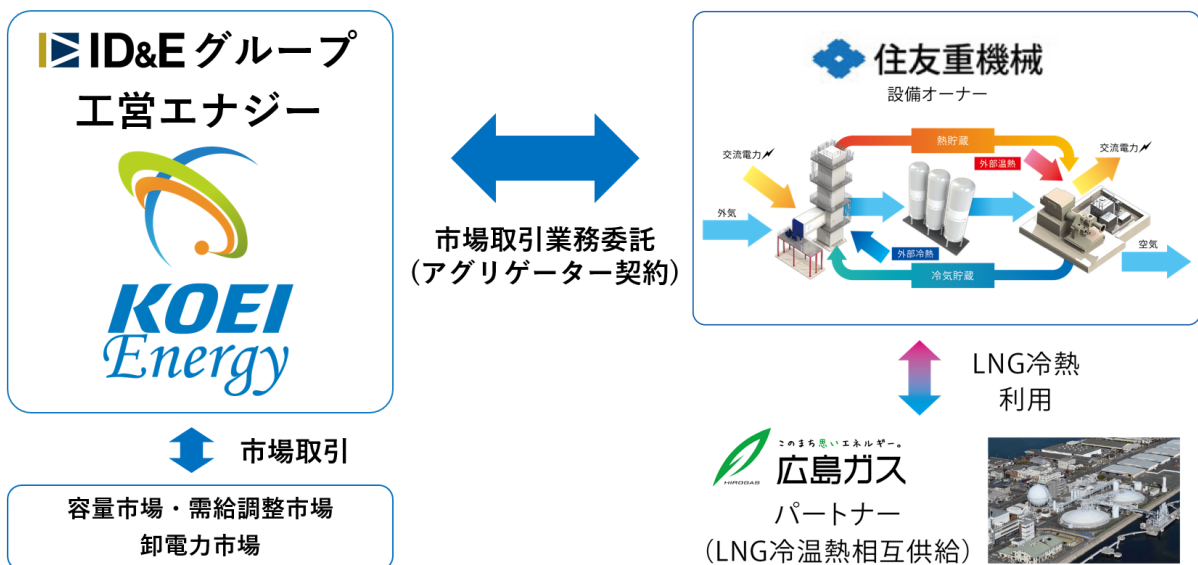
ID&E ホールディングスのグループ会社である株式会社工営エナジー（本社：東京千代田区、代表取締役社長：鷹尾伏 亮、以下「工営エナジー」）は、住友重機械工業株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：下村 真司、以下「住友重機械工業」）と、同社が建設予定の液化空気エネルギー貯蔵（Liquid Air Energy Storage、以下「LAES」）<sup>※1</sup> システムの商用実証プラントを電源とする 2027 年度容量市場オークション 応札<sup>※2</sup>に係る「アグリゲーター契約」を締結いたしました。

本システムは、住友重機械工業が出資する英国のハイビューエンタープライズリミテッド社（Highview Enterprises Limited）が先導する LAES 技術を活用した日本国内初の商用実証プラントです。広島ガス株式会社（本社：広島市南区、代表取締役社長 社長執行役員：松藤 研介）の廿日市工場内に容量 4.99MW/4h システムを建設し、2025 年の運転開始が予定されています。工営エナジーは住友重機械工業とのアグリゲーター契約（市場取引業務委託）により、本システム内で発電した電力を活用し、容量市場での市場取引を実施します。また今後、需給調整市場、卸電力市場での市場取引も見据えた包括契約を締結予定です。

LAES システムを電源とした容量市場取引は工営エナジーとしても初の試みです。ID&E グループの強みである、欧州での系統用蓄電池の制御技術と国内での各種市場取引ノウハウを活かし、LAES システムの特性を踏まえた最適な市場取引運用の検証実施を予定しています。また、工営エナジーでは今後も電力市場において、容量市場、需給調整市場、卸電力市場でのアグリゲーター技術の運用により LAES をはじめとする多様な電力の活用を実施していきます。

ID&E グループは、今後需要の見込まれるエネルギー市場でのノウハウを追求し、資源の有効活用と環境負荷の低減および脱炭素社会の実現に貢献していきます。

LAES 商用実証の概要



- ※1 LAES システムは、以下の 3 つのプロセスから構成されています。
- 1) 充電：オフピーク時の電力または余剰電力を利用し空気液化設備を作動させ液体空気を生成。
  - 2) エネルギー貯蔵：液体空気は低圧で断熱されたタンクに貯蔵。
  - 3) 放電：ガス化した空気によりタービンと発電機を駆動させ、電力を生成。
- ※2 将来の電力安定供給のため、4 年後の日本全体の供給力 (kW) を確保するための市場。2023 年度に 2027 年度供給分の入札が実施されます。

—本件に関するお問い合わせ先—

ID&E ホールディングス株式会社 経営管理本部 コーポレートコミュニケーション室  
TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.id-and-e-hd.co.jp/>